

令和5年度

～ 「地域の方々と一緒に鯨カツカレーをつくろう」の取組 ～

# 地域食文化である鯨肉を使ったカレーライスを学びました

12月19日（火）油谷小学校  
3.4校時と昼食 9:00～13:30

1年の節目に大きなものを食べると幸せになることも学んだよ！

「大きなものを食べて、節目を迎える新しい年を元気に過ごすよ！」



「第2回地域の方々と一緒に鯨カツカレーをつくろう！」を油谷小学校で開催しました。油谷小学校と向津具小学校の6年生で実施する予定でしたが、今年は向津具小学校の6年生が0人のため油谷小学校の6年生のみで実施しました。

油谷の川尻地域は鯨の捕鯨地域として栄えていました。地域の食文化である鯨理を地域の小学生が知るとともに、その食材を使った現在にマッチした鯨カツカレーの調理方法を地域の方々から実践的に学ぶことを目的に実施しました。加えて、新しい年を迎えるにあたり、1年の節目に大きな鯨を食べることは家族の健康を願い大きな幸せや力をいただきたいという古くからの思いが込められていることを学ぶよい機会であることも目的としました。油谷中央公民館では、学校と地域が互いに連携し合い、「異世代交流をとおして、子どもを育む」ことをめざして、このような教育活動を展開しています。

当日は、「長門大津くじら食文化を継承する会」より鯨肉をはじめとする食材提供を、指導者として油谷なでしこ男子厨房に入る会のみなさんをお願いしました。お陰様で、活動がスムーズに展開することができました。子どもたちは、野菜の切り方やカレーの作り方、初めて挑戦するポイルした鯨の皮や赤身の鯨肉の切り方などを実践的に学ぶことができました。それは、子どもたちの真剣に取り組む様子や最後にあいさつをしてくれた子どもの感想から見取ることができました。

向津具小学校の子どもたちが今年いないことは残念でしたが、公民館としては、これからも2つの小学校から同じ中学校に行くことを視野に入れながら、地域と連携して子どもたちを育てまいりたいと考えています。長門大津くじら食文化を継承する会の皆様、油谷なでしこ及び男子厨房に入る会の皆様、事前の詳細な準備から当日の運営まで真摯にご協力いただき、本当にありがとうございました。

